数値目標

| 指標 | 現 況 | 2029年度末 | 出典 |
|--|------------------|---------|----------|
| へき地診療所からの代診医依頼に対 する派遣率*1 | 79% (2022年度) | 100% | 県保健福祉部調査 |
| へき地医療拠点病院の中で必須事業*2の実施回数が年間1回以上の医療機関の割合 | 100% (2022年度) | 100% | 県保健福祉部調査 |

*1 派遣率

へき地診療所からへき地医療支援機構への代診医派遣調整依頼に対する、へき地医療拠点病院からへき地診療所への実際の代診医派遣割合

*2 必須事業

「へき地保健医療対策等実施要綱」(令和4年7月29日医政発0729第13号厚生労働省医政局長通知)において定められている、

- へき地医療拠点病院が行う事業のうち、いずれかは必須で実施すべきとされている以下の事業 ・巡回診療等によるへき地住民の医療確保に関すること
 - ・へき地診療所等への代診医等の派遣(継続的な医師派遣も含む)及び技術指導、援助に関すること
 - ・遠隔医療等の各種診療支援に関すること

| 編·章·節 分野名 | 指標 | 現況(年(度)) | | 目標値 (2029年度末) ※時点が異なる 場合は時点も記載 | 出典 |
|------------------|--|------------------------|-------------------|---|---|
| 5編2章5節 精神疾患 | 精神病床における退院率(入院後3か月時点) | 58.6% | 令和元年 | 68.9% (2026年度末) | レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB) (国立精神・神経医療研究センター) |
| | 精神病床における退院率(入院後6か月時点) | 76.4% | 令和元年 | 84.5% (2026年度末) | レセフ・ト情報・特定健診等情報データベース(NDB) (国立精神・神経医療研究センター) |
| | 精神病床における退院率(入院後12か月時点) | 86.1% | 令和元年 | 91.0% (2026年度末) | レセプト情報・特定健診等情報データへース(NDB) (国立精神・神経医療研究センター) |
| | 精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域 における平均生活日数 | 328.2日 | 令和元年 | 325.3日 | レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB) (国立精神・神経医療研究センター) |
| | 精神病床における入院患者数(急性期・65歳以上) | 435人 | 令和4年 | 925人 | 630調査(国立精神·神経医療研究センター) |
| | 精神病床における入院患者数(急性期・65歳未満) | 453人 | 令和4年 | | 630調査(国立精神・神経医療研究センター) |
| | 精神病床における入院患者数(回復期・65歳以上) | 226人 | 令和4年 | 1,032人 | 630調査(国立精神・神経医療研究センター) |
| | 精神病床における入院患者数(回復期・65歳未満) | 501人 | 令和4年 | | 630調査(国立精神・神経医療研究センター) |
| | 精神病床における入院患者数(慢性期・65歳以上) | 1,786人 | 令和4年 | 1,793人 | 630調査(国立精神・神経医療研究センター) |
| | 精神病床における入院患者数(慢性期・65歳未満) | 841人 | 令和4年 | 635人 | 630調査(国立精神・神経医療研究センター) |
| | 新規入院患者の平均在院日数 | 121.8日 | 令和元年 | 110.3日 | レセプト情報・特定健診等情報データペース(NDB) (国立精神・神経医療研究センター) |
| 5編2章6節 救急医療 | 救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに 要した平均時間 | 44.9分(全国42.8分) | 令和3年 | 全国平均 | 救急・救助の現況(総務省消防庁) |
| | 搬送先選定困難事例構成割合(照会回数4回以上) 〈重症以上傷病者〉 | 5.1%(全国4.3%) | 令和3年 | 全国平均 | 救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査の結果 (総務省消防庁) |
| | 搬送先選定困難事例構成割合(現場滞在時間30分以上)(重症以上傷病者) | 10.1%(全国7.7%) | 令和3年 | 全国平均 | 救急搬送における医療機関の受入れ状況等実態調査の結果 (総務省消防庁) |
| | 救急科専門医数(人口10万対) | 3.1人(全国3.8人) | 令和2年 | 全国平均 | 医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省) |
| | 退院調整支援担当者数(病院)(人口10万対) | 13.4人(全国14.8人) | 令和2年 | 全国平均 | 医療施設(静態・動態)調査(厚生労働省) |
| 5編2章7節 災害医療 | 県災害医療コーディネーター任命者数 | 13人 | 令和4年度 (3/31時点) | 14人以上 | 県保健福祉部調査 |
| | 地域災害医療コーディネーター任命者数 | 17人 | 令和4年度 (3/31時点) | 18人以上 | 県保健福祉部調査 |
| | 地域保健医療福祉調整本部等における関係機関・ 団体と連携した訓練実施回数 | 3回 | 令和4年度 | 7回以上 | 県保健福祉部調査 |
| | 災害拠点病院において策定したBCPに基づく被災 状況を想定した訓練実施回数 | 16回以上 | 令和4年度 | 16回以上 | 災害拠点病院の現状調査(厚生労働省) |
| 5編2章8節 感染症対策 | 協定締結医療機関(入院、発熱外来)の確保病床 数、機関数 | | _ | 入院: 612床 発熱外来: 683機関 | - |
| | 喀痰塗抹陽性肺結核初回治療患者の治療失敗・脱 落中断率 | 6.7% | 令和3年 | 5%以下 | 令和3年結核登録者情報調査年報(厚生労働省) |
| | 麻しん風しん予防接種率(定期) | 第一期:94.2% 第二期:94.2% | 令和3年 | 第一期、第二期とも95%以上 | 令和3年市町村接種率調査(厚生労働省) |
| 5編2章9節 へき地医療 | へき地診療所からの代診医依頼に対する派遣率 | 79% | 令和4年度 | 100% | 県保健福祉部調査 |
| | へき地医療拠点病院の中で必須事業の実施回数が 年間1回以上の医療機関の割合 | 100% | 令和4年度 | 100% | 県保健福祉部調査 |
| 5編2章10節 周産期医療 | 周産期死亡率(出生千対) | 2.9(全国3.3) | 令和4年 | 2.9未満 | 人口動態統計(厚生労働省) |
| | 新生児死亡率(出生千対) | 0.6(全国0.8) | 令和4年 | 0.6未満 | 人口動態統計(厚生労働省) |
| | 周産期母子医療センター及び病院勤務産婦人科医師1人当たりの年間取扱分娩件数 | 87.3件(全国66.0件) | 令和4年 | 66.0件 | 宮城県周産期医療機能調査(県保健福祉部) ※全国「人口動態統計」「医師・歯科医師・薬剤師統計」(厚生 労働省) |
| | 災害時小児周産期リエゾン委嘱者数 | 20人 | 令和4年度 (3/31時点) | 26人 | 県保健福祉部調査 |